

9月1日は防災の日

各地域で行われる訓練に積極的な参加を

4月の熊本地震では、大きな被害が発生しました。大規模な地震が発生した場合に最小限の被害で済むように、日ごろからの備えを行なってください。市では大災害が発生した際、広域避難地や避難所を各地域に開設します。

危機管理課

☎ 995-1817

広域避難地にいる市の職員が 被災状況などの情報を収集

市内には11カ所、広域避難地に指定した避難地があります。大規模地震が起きた場合、各広域避難地には、市の職員を派遣して各地の被災状況を把握します。広域避難地にいる市の職員に、各地区の住民の皆さんが被災情報を伝えてもらい、その情報を市の本部に報告します。また、市の職員は緊急拠点地を巡回して、情報の収集に努めます。

広域避難地

西小学校、南小学校、裾野高校、生涯学習センター、東小学校、向田小学校、深良小学校、富岡第一小学校、富岡第二小学校、千福が丘小学校、須山小学校
※広域避難地などの施設の場所は、4月に配布した防災マップにも記載されていますので、ご確認ください。

救護所は市内に4カ所開設

大規模地震が起きた場合、市は医師会などの協力を得て、市内4カ所に救護所を開設し、負傷者の救護に当たります。医師はあらかじめ割り振られている救護所へ行きますので、市内の病院は閉院します。救護所には多くの負傷者が来ることが想定されます。まずトリアージを行い、重傷者などを救護病院（裾野赤十字病院）へ搬送した後、軽傷者の手当てを行います。



救護所

福祉保健会館、南小学校、裾野高校、須山地区研修センター

各地域で行われる訓練に 積極的な参加を

9月1日(木)の防災の日に合わせて、各地域で、防災訓練が行われます。積極的に参加し、災害時の非難行動などを身に付けましょう。

避難所の運営は、避難者同士で

市では、28カ所の施設を避難所に指定しています。大規模地震が起きた場合、まず広域避難地にある施設を避難所として開設し、その後避難者の状況に応じて、他の避難所を開設します。また、福祉避難所も開設します。

建物の応急危険度判定を専門家が実施した後、避難所を開設します。避難所へは各区でまとまって移動することが重要です。避難所は、市の職員が立ち上げますが、避難者同士で運営し、区画の割り当て・配置、避難生活のためのルールなどを決めてもらいます。避難者には地域の住民の方以外にも、災害時にその地域に仕事や観光などで来ていた方も含まれます。避難者相互での協力が大切です。

避難所

西小学校、南小学校、裾野高校、生涯学習センター、東小学校、向田小学校、深良小学校、富岡第一小学校、富岡第二小学校、千福が丘小学校、須山小学校、西中学校、西幼稚園、南児童館、東中学校、いずみ幼稚園、東西公民館、市民体育館、深良中学校、深良幼稚園、深良コミュニティセンター、富岡中学校、富岡第一幼稚園、御宿台保育園、富岡コミュニティセンター、須山中学校、須山コミュニティセンター、須山地区研修センター

※福祉避難所▶高齢者や障がい者、乳児、妊産婦、傷病者、外国人などの方に対応します。

浸水害・土砂災害時の避難

避難準備情報を発表した際、東小体育館と須山コミュニティセンターの2カ所に職員を派遣して避難所を開設します。

※避難する方が多い場合は、東地区コミュニティセンター、須山地区研修センターも避難所として開設します。

